

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	鳥取生協病院					
許可病床数	260床（内訳：一般260床、療養 床、精神 床、その他 床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	106床	134床	20床	260床
	2025年	床	106床	134床	20床	260床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床	削減・転換後の病床	転換（予定）日			
	なし					

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	<p>病床機能としては急性期病棟 106 床。地域包括ケア病棟 44 床。回復期リハビリ病棟 2 病棟 90 床。緩和ケア病棟 20 床を有している。</p> <p>また、5 疾病については①がん対策：がん拠点病院に準ずる病院として、健診からの早期発見、外科領域での手術、内科領域での化学療法などに対応。疼痛コントロールを行う緩和ケア病棟を有する。②脳卒中对策：急性期の開頭術、血管内治療、TPA に対応。回復期での脳卒中リハビリも強化。③心血管疾患対策：24 時間心カテに対応。心臓リハビリを実施。④糖尿病対策：慢性疾患管理を外来で対応。⑤精神疾患対策：外来にて診察・治療。精神科訪問看護、精神科短時間リハ。</p> <p>6 事業①救急医療：2 次救急対応の病院として輪番群制度の一翼を担う。災害医療：災害拠点病院に準ずる機能を有する。</p>
自施設の 課題	<p>高齢の救急患者が増加し、重症で入院が長期化している患者の対応。地域の治し支える病院としての機能、特に救急受入れがベッド満床の折には受入困難となっている。退院支援、地域施設・事業所との連携が重要。医師不足による医師負担の増加については早急な対策が必要。</p>

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （ <u>2025年を見据えての役割を記載してください</u> ）	引き続きに東部地域の救急医療を支えつつ、急性期から回復期、緩和医療と疾患治療から生活支援までを一貫した流れとして、地域住民が住み慣れた町で退院後も住み続けられる援助ができる病院としての役割を果たす。
今後持つべき 病床機能（ <u>病床機能報告で変更を予定している病床なども記載してください</u> ）	現在の病棟構成を維持し、最大限その機能を発揮することで、鳥取県東部地域の生活支援病院として機能する。
その他見直すべき点（診療科の見直し等がある場合は記載してください）	当面は現在の診療科を最大限維持していく。

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	鳥取産院					
許可病床数	78床（内訳：一般20床、療養58床、精神 床、その他 床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	20床	床	58床	78床
	2025年	床	20床	床	58床	78床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床		削減・転換後の病床	転換（予定）日		
	医療療養病床 17床		介護医療院 17床	平成31年度		
	介護療養病床 41床		介護医療院 41床	平成31年度		

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 疾病では、がん対策、脳卒中对策、心筋梗塞等の心血管疾患対策、糖尿病対策、精神疾患対策の療養を担っている。 ・ 6 事業のうち周産期医療の提供を行っている。
自施設の 課題	現状を維持していくためにも、医師・看護師・介護福祉士の確保が必要。

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （ <u>2025年を見据えての役割を記載してください</u> ）	介護療養病床の6年後には廃止等により、医療療養病床を含む病床を、介護医療院へ転換し、長期療養が必要な方にたいして、サービス計画に基づいて、療養上の管理看護、医学的管理下における介護及び機能訓練、その他必要な医療、並びに日常生活上のお世話を目指します。
今後持つべき 病床機能（ <u>病床機能報告で変更を予定している病床なども記載してください</u> ）	急性期 20 条 慢性期 58 床（介護医療院）
その他見直すべき点（診療科の見直し等がある場合は記載してください）	

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	尾崎病院					
許可病床数	180床（内訳：一般60床、療養120床、精神 床、その他 床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	22床	38床	120床	180床
	2025年	床	22床	38床	120床	180床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床	削減・転換後の病床	転換（予定）日			
	なし					

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	<p>急性期・回復期・慢性期の病床を有しており、東部圏域内を対象エリアとしている。特に県立中央病院・日赤病院と病病連携をとっており、回復期・維持期の患者受け皿的役割を担っている。</p> <p>外来では専門医によるスポーツ整形・小児運動器・骨粗鬆症等専門外来を開設。糖尿病患者への運動療法指導にも力を入れている。</p> <p>透析センターでは腎臓リハビリテーションの取り組みが5年目を迎える。</p> <p>健診センターでの予防医療推進、受診者も着実に増加している。また出前講座（19 講座 無料）も公民館を中心に利用数が増えている。</p> <p>訪問看護STでは、千代川以西を中心に看護・リハを行っている。また、河原町にサテライトを開設、智頭・若桜等山間部方面にも訪問を行っている。</p>
自施設の 課題	<p>医師の高齢化及び不足、看護師不足の課題がある。これにより連携病院の皆様にはご迷惑をおかけしている。</p> <p>また、近隣にクリニックが増えており、外来の在り方を今一度検討していきたい。（例えば午後診療）</p> <p>建物一部も30年以上経ち、公的病院とは違い、赤字を出すことなく設備投資をしなくてはならないため、大きな改修が難しい。</p>

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （ <u>2025年を見据えての役割を記載してください</u> ）	<ul style="list-style-type: none"> 回復期・維持期の患者受け皿的役割を担っていく。 訪問診療・訪問看護・リハの拡充をし、24時間365日対応をしていく。 地域医療では、健康維持推進を目的として、出前講座や院内講演会・セミナーを行っていく。
今後持つべき 病床機能（ <u>病床機能報告で変更を予定している病床なども記載してください</u> ）	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床・回復期リハ病床転換を検討中、時期未定。 病床機能は現状維持とする。
その他見直すべき点（診療科の見直し等がある場合は記載してください）	現時点はない。

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	ウェルフェア北園渡辺病院					
許可病床数	360床（内訳：一般 床、療養240床、精神120床、その他 床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	床	60床	180床	240床
	2025年	床	床	60床	120床	180床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床		削減・転換後の病床		転換（予定）日	
	介護療養病床60床		介護医療院60床		平成31年4月1日	
	認知症介護療養病床60床		介護医療院60床		平成31年4月1日	

【2. 現状と課題】

自施設の現状・特 徴（病床機能や5 疾病6事業の状況 などを記載してく ださい）	回復期、慢性期、認知症の入院治療を担っている。
自施設の 課題	高齢者のエンドオブライフケア患者の増加に伴い、入退院数が増えていること への対応

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （2025年を見据 えての役割を記載 してください）	現状と同じ
今後持つべき 病床機能（病床機 能報告で変更を予 定している病床な ども記載してくだ さい）	現状と同じ
その他見直すべき点 （診療科の見直し等 がある場合は記載し てください）	現状と同じ

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	渡辺病院					
許可病床数	308床（内訳：一般 0床、療養 50床、精神 258床、その他 0床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	床	床	50床	50床
	2025年	床	床	床	24床	24床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床		削減・転換後の病床		転換（予定）日	
	介護療養病床 26床		介護医療院 26床		平成31年4月1日	

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病床 258床（認知症治療病棟 60床、精神療養病棟 144床、精神科急性期治療病棟 54床） ・療養病棟 50床（医療療養病棟 24床、介護療養型医療施設 26床） ・5疾病：精神疾患対策 ・6事業：救急医療（精神科救急）
自施設の 課題	今後20年間の地域医療に適した外来・病棟構造、医療/療養機能を有効に使って、地域医療のニーズに柔軟に対応していくこと。

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （ <u>2025年を見据えての役割を記載してください</u> ）	<p>こころの医療分野での専門性を高めながら、地域の関係機関と緊密な連携を続けていくこと。</p> <p>患者さんの一人ひとりの病状に多職種連携のもと、迅速かつ丁寧に治療にあたり、地域における健康の基盤を支えることを通じて地域に貢献すること。</p> <p>今後の地域医療に適した外来・病棟構造、医療/療養機能をもたせ、地域医療のニーズに柔軟に対応すること。</p>
今後持つべき 病床機能（ <u>病床機能報告で変更を予定している病床なども記載してください</u> ）	慢性期療養病棟50床のうち、介護療養型医療施設26床を介護医療院に転換する。
その他見直すべき点（診療科の見直し等がある場合は記載してください）	なし

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	鳥取医療生協 鹿野温泉病院					
許可病床数	141床（内訳：一般 床、療養96床、精神 床、その他45床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	床	50床	46床	96床
	2025年	床	床	50床	46床	96床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床	削減・転換後の病床	転換（予定）日			
	なし					

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	2019年1月より医療療養病棟50床を地域包括ケア病棟として施設基準の変更を行った。施設基準の変更に伴い、看護職員体制を集中させるため、医療療養病棟45床を2018年11月末に休止し、3病棟から2病棟となった。医療療養病棟46床は継続。介護医療院46床を併設。病院全体で認知症ケアに力を入れている。
自施設の 課題	医師、病棟職員の高齢化が進んでおり、現在の施設基準を維持していくための計画的な体制整備が課題。

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 <u>（2025年を見 据えての役割を 記載してくださ い）</u>	<p>気高ブロック内の地域包括ケアの一翼を担う事業所として、事業所間の連携を深め、地域の方々が「いつまでも安心して暮らせる」まちづくりに貢献していきたい。</p> <p>在宅療養支援病院として気高ブロック内の開業医をはじめ介護事業との連携を強化する。</p>
今後持つべき 病床機能（ <u>病床 機能報告で変更 を予定している 病床なども記載 してください</u> ）	
その他見直すべ き点（診療科の 見直し等がある 場合は記載して ください）	

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	医療法人緑会上田病院					
許可病床数	106床（内訳：一般 床、療養 床、精神 106床、その他 床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	床	床	床	床
	2025年	床	床	床	床	床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床	削減・転換後の病床		転換（予定）日		
	なし					

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	精神疾患のうち、慢性期を主に受け入れている。
自施設の 課題	外来受診者の増加、入院利用者の漸減

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （ <u>2025年を見据えての役割を記載してください</u> ）	検討中
今後持つべき 病床機能（ <u>病床機能報告で変更を予定している病床なども記載してください</u> ）	検討中
その他見直すべき点（診療科の見直し等がある場合は記載してください）	検討中

2025年に向けた対応方針等調査（平成31年2月現在）

【1. 基本情報】

医療機関名	医療法人メンタルリカバリーセンター幡病院					
許可病床数	120床（内訳：一般 床、療養 床、精神 120床、その他 床）					
平成30年度 病床機能報告 における病床数	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	2018年	床	床	床	床	床
	2025年	床	床	床	床	床
病床削減・ 病床転換予定 （実際の内容が 分かるような名 称で記載してく ださい。）	病床削減や介護医療院への転換など具体的な予定があれば御記入ください。					
	現在の病床	削減・転換後の病床	転換（予定）日			
	なし					

【2. 現状と課題】

自施設の 現状・特徴 （病床機能や5 疾病6事業の状 況などを記載し てください）	（精神疾患） 精神療養病床
自施設の 課題	家族支援など何らかの支援があれば退院可能な患者の退院促進

【3. 今後の方針】

地域において 今後担う役割 （ <u>2025年を見据えての役割を記載してください</u> ）	国の医療施策や療養患者のニーズ等を見極めながら、地域の実情に応じた担う役割を検討することとしています。
今後持つべき 病床機能（ <u>病床機能報告で変更を予定している病床なども記載してください</u> ）	未定
その他見直すべき点（診療科の見直し等がある場合は記載してください）	記載なし